

令和6年度「彩の国教育の日」協賛 第45回大里地方教育推進協議会

期日 令和6年11月5日(火) 14:00～

会場 深谷市花園文化会館アドニス

来賓

深谷市長 小島 進 様

深谷市教育委員会教育長 片桐 雅之 様

埼玉県退職校長会会長 新井 俊一 様

埼玉県教育局北部教育事務所長 長谷部 巧 様

秋の深まりを感じる11月5日、来賓4名、現職校長73名、退職校長42名、計119名参加のもと、第45回の大里地方教育推進協議会が開催されました。

開会行事では、深谷市長 小島進様から祝辞と渋沢栄一翁の新札発行に伴う話題、教育長 片桐雅之様からは渋沢翁と教育活動との関わり、会長の新井俊一様からは、「彩の国教育の日」が制定された経緯とその原点についてお話をいただきました。

研究協議1は、現職校長を代表して深谷市立川本北小学校校長、小谷野聖二先生による「魅力ある学校づくりの推進」をテーマに提案がありました。魅力ある学校の要素を「わかる授業」「魅力ある教師の存在」「楽しく語り合える友の存在」とし、それぞれについて学校が抱える課題を明確にしながら、その解決のための具体的な取り組みについて詳細な説明がありました。

研究協議2では地元が生んだ和算家「藤田雄山^{すげん}貞資」について、退職校長会を代表し大澤誠一先生の提案がありました。藤田雄山貞資顕彰会会長でもある大澤先生は袴姿で登壇し、藤田雄山への熱い思いを胸に様々なエピソードやイラストを交え、講談風にわかりやすく語っていただきました。

それぞれの提案について感想発表があり、今後教育現場に活かせるヒントが示されたこと、また退職後の生き方に示唆を与える内容であったことなどの感想をいただきました。

最後に埼玉県教育局北部教育事務所長の長谷部 巧先生による指導講評では、二つの提案が第4期埼玉県教育振興基本計画とどのように関連しているか、さらに埼玉教育に関する情報提供として「学力向上」「不登校児童生徒」「学校職員の不祥事」「教職員の管理職登用」「学校おける働き方改革」などについてお話をいただき、今後の教育のあり方について考える契機となりました。

